

# 三里塚通信

No. 2805

2021・6・12

反戦・全学連  
三里塚現地行動隊

解放派

## 請求異議裁判上告棄却を弾劾する

六月八日、最高裁は請求異議裁判の上告を棄却した。上告受理申立についても受理せず、強制執行停止申立も判断しないまま終了した。昨年十二月十七日の東京高裁による控訴棄却からわずか半年での決定を徹底弾劾する。

請求異議の裁判闘争は、二〇一六年一〇月の最高裁による不当な農地明け渡し決定から四年半闘われてきた。二〇〇八年からの農地法裁判闘争を通して、全国から結集した仲間たちによって首都・東京に攻め上る闘いがくり広げられてきた。そこで培ってきた力を、天神峰現地での闘いに発揮しよう。

## 農地強奪阻止！空港機能強化粉碎！

本年三月三十一日に強制執行停止の期限が切れ、四月一日から反対同盟と支援連は現地監視行動を開始した。現下の攻撃は、成田空港建設における第一次、第二次強制代執行を上まわる戦後最大の農地強奪攻撃だ。一九七一年九・一六東峰十字路戦闘で機動隊を完全打倒した闘いや大木よねさんの不屈・非妥協の闘いをひきつぎ、農地死守の実力闘争を爆発させよう。

市東さんの農地強奪攻撃と空港機能強化の攻撃は不可分の攻撃だ。反対同盟を先頭とした三里塚闘争を破壊し、四〇〇〇メートル級の軍事転用可能な滑走路を三本持つ空港に仕立て上げるための攻撃だ。成田空港を戦争のための出撃・兵站基地としてはならない。三里塚闘争は、「三里塚に勝って戦争を止めよう」のスローガンのもと、〈反戦・反核・反権力の砦＝三里塚〉として五十五年間闘ってきた。「どんなことがあるうと、私は、天神峰の畑を耕し続ける」という市東さんの決意をがっちり受けとめ、実力阻止態勢を強化しよう。地域住民の怒りと結びついて闘おう。

## 三里塚決戦勝利！空港廃港へ！

新型コロナウイルスの感染拡大による航空需要の激減によって、昨年度空港会社は数百億円の赤字となり、成田空港の国内線をふくむ発着回数はずかす万六千二百八十回だった。発着回数五十万回など幻想にすぎない。それでもなお空港建設に突き進む空港会社を許さない。また、「成田空港をアジアで一番の貨物空港へ、空港周辺を物流基地へ」と叫び、それが地域との共存共栄だとする地元利権屋集団を許さない。芝山町長・相川による集会場貸し出し拒否を撤回させよう。国家権力・機動隊による弾圧と対決し、三里塚―沖縄―福島を結び、労農水「障」学共闘で農地死守決戦に勝利しよう。反対同盟が呼びかける七・一一第四回かしの木まつりに大結集しよう。いざ、天神峰へ。